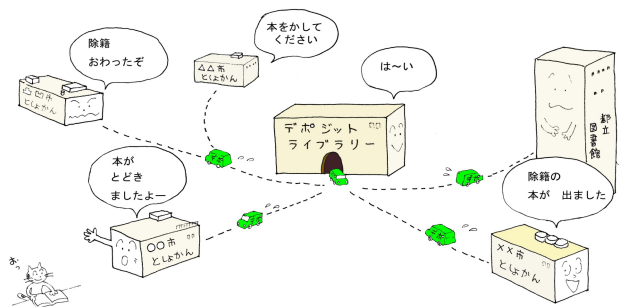


…… これまでのあゆみ……

- 2001.7 都教委「東京都立図書館あり方検討委員会」設置
「中間のまとめ」発表→ 都立図書館の縮小再編計画開始
- 2002.1-3 都立多摩図書館、都立中央との重複資料 14 万冊一括除籍
- 2002.7 「多摩地域の図書館をむすび育てる会(略称:多摩むすび)」発足
- 2003.12 『東京にデポジット・ライブラリーを！』ポット出版 発行
- 2006.5 「NPO 共同保存図書館・多摩」任意団体の発足
- 2007.1 機関紙『多摩デポ通信』創刊(以後年 4 回発行)
- 2008.4 「NPO 法人共同保存図書館・多摩」発足
- 2008.7 図書館資料の里親探し事業開始
- 2008.9 「多摩デポ講座」第1回開催(以後ほぼ年3回開催)
- 2009.5 多摩デポブックレット刊行開始
- 2009.11 日野市立図書館廃棄予定資料横断検索ボランティア(以後、数市で実施)
- 2011 日本図書館協会の東日本大震災被災図書館支援活動に協力
～2018 (資料救済支援など)
- 2013.12 (株)カーリルとバーチャル共同保存図書館構想の研究開始
- 2014.11 第 100 回全国図書館大会 公募型分科会の企画に応募、運営
- 2016.3 「多摩地域公共図書館蔵書確認システム」(=TAMALAS)稼働
- 2016.5 TAMALAS 個別処理システムHPで公開
- 2018.7 TAMALAS 一括処理システム利用申請受付開始
- 2020.10 TAMALAS の検索対象に、国立国会図書館の所蔵の有無を追加
- 2021 TAMALAS で、書庫資料データの大量一括点検(府中市約 53 万冊)に協力
- 2022.4 TAMALAS の検索対象に、たましん地域文化財団歴史資料室を追加
- 2023 ISBN(国際標準図書番号)未入力の蔵書データへの ISBN 附番援助を始める
- 2023.9 「多摩地域ライブラリアン講座」第1回開催(以後年1回開催)
- 2025.3 『都立中央図書館の在り方』(案)へのパブリックコメント提出



特定非営利活動法人 共同保存図書館・多摩
Tama Deposit Library

本を生かそう
保存し活用しつづけよう
そのために智慧をだしあおう

目的(定款から)

第3条

この法人は、広く一般市民を対象として、行政や企業等との協働のもとに、市町村立図書館等が除籍する資料、個人団体などが手放す資料等の収集・整理事業、再活用事業、貸出等による提供事業を行い、広域的な共同保存図書館活動を、普及展開することで、必要な情報を誰もが容易に得ることができるような社会づくりに寄与することを目的とする。

〔役員〕

理事長	座間直壯	顧問	津野海太郎
副理事長	清田義昭		
理事	堀渡	理事	齊藤誠一
理事	田中ヒロ	理事	保坂一房
理事	中川恭一	理事	雨谷逸枝
理事	小池信彦	理事	田中久徳
監事	山崎明子	監事	手嶋孝典

〔事務局〕

〒182-0011
E-mail
郵便振替口座

調布市深大寺北町1-31-18

office@tamadepo.org

00180-5-726583

NPO法人共同保存図書館・多摩

*フリガナ→トクヒ) キョウドウホゾンショカンタマ

<https://www.tamadepo.org>

H P

□共同保存図書館実現に向かっての日常活動□

◆現状の分析と提案◆

- 私達の「多摩発・共同保存図書館基本構想」の普及啓発
- 東京都や市町村立図書館長協議会への意見具申
- 都立や国会図書館の資料保存やデジタル化等の動きの分析
- 共同保存図書館の基盤の研究・開発

TAMALAS (多摩地域公共図書館蔵書確認システム)
の提供・運用援助
希少資料の個別の所蔵確認から数十万冊の一括確認まで対応

**ISBN 未入力蔵書データへの
ISBN 附番援助** (多摩の公立図書館対象)

図書館資料の里親探し
手放す資料と補充したい資料の譲渡の橋渡し

**機関紙「多摩デポ通信」の発行
／ホームページでの情報発信**
機関紙は年4回発行し、多摩地域等の図書館にも寄贈

講座・講演会
・市民と図書館員が資料の保存と利用について学ぶ
「多摩デポ講座」
・現役の図書館員に役立つ課題を学び交流する
「多摩デポ実践講座」
・多摩の中堅図書館員が踏まえておきたい知識や
技術を学び、これからの図書館の展望を得るための
「多摩地域ライブラリアン講座」

多摩デポメーリングリストの運営
会員とサポーターの情報交換の場

☆会員・サポーター募集中☆

いつまでも快適に本が読める
共同保存図書館の実現に向か
って、一緒に活動を進めまし
よう！

【年会費】

- ・正会員（個人・団体） 5,000 円
- ・賛助会員（個人・団体）
1 口 2,000 円
（個人 1 口以上、団体 5 口以上）

会員には、

- ・「多摩デポブックレット」を発行
の都度、無償配布します。
- ・講座・講演会には優先的に参加
できます。
- ・機関紙「多摩デポ通信」をお送り
します。



多摩デポブックレット

多摩デポ講座・講演会から生まれた本です
価格は本体価格
発売…けやき出版 デポ事務所へのご注文も可

No.1	公共図書館と協力保存	ー利用を継続して保証するためにー	安江明夫	2009.5	600 円	残部僅少
No.2	地域資料の収集と保存	ーたましん地域文化財団歴史資料室の場合ー	保坂一房	2009.9	600 円	残部なし
No.3	地図・場所・記憶	ー地域資料としての地図をめぐるー	芳賀 啓	2010.5	600 円	残部僅少
No.4	現在を生きる地域資料	ー利用する側・提供する側ー	平山恵三 蛭田廣一	2010.11	600 円	
No.5	図書館のこと、保存のこと		竹内 愼 梅澤幸平	2011.5	700 円	
No.6	図書館の電子化と無料原則		津野海太郎	2011.10	600 円	
No.7	多摩を歩いて三十七年半	ー街人暮らし、そして図書館	山田優子	2012.5	600 円	
No.8	被災資料救助から考える資料保存	ー東日本大震災後の釜石市での文書レスキューを中心にー	青木 睦	2013.11	600 円	
No.9	電子書籍の特性と図書館		堀越洋一郎	2013.11	600 円	
No.10	図書館の連携協力の基盤整備に向けて	ー図書館を支える制度の不備と「図書館連合」の提案ー	松岡 要	2015.1	600 円	
No.11	書物の時間	ー書店店長の想いと行動ー	福嶋 聡	2017.8	600 円	
No.12	図書館の「捨てるが残す」への期待と不安	ー出版産業の危機の中で／書き手として、利用者としてー	永江 朗	2018.10	600 円	
No.13	図書館計画で書庫はどう考えたらいいのか？	ーいくつかの街の図書館づくりに参画して学んだことー	寺田芳朗	2019.3	600 円	
No.14	図書館づくりの現況から「保存」を考える		塩見 昇	2019.7	800 円	
No.15	『市民の図書館』の資料保存問題		山口源治郎	2021.4	800 円	
No.16	地域資料とデジタルアーカイブ	ーたましん地域文化財団歴史資料室を例にー	保坂一房	2023.3	1000 円	
No.17	「国の蔵書」を自在に利用できる時代へ	ー公共図書館の未来と国立国会図書館の役割ー	田中久徳	2025.2	1000 円	